

# **Expansion of Cultural Archives at National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo (NRICP): Providing Contents of *the Yearbook of Japanese Art* for Global Academic Information Infrastructure.**

**東京文化財研究所における「文化財に関する専門的アーカイブの拡充」：『日本美術年鑑』のコンテンツを国際的学術基盤へ**

**2016.9.17**

**Hideki KIKKAWA Researcher(Librarian, Archivist)**

**National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo (NRICP)**

**橘川英規**

**東京文化財研究所 研究員**

- 1) 東京文化財研究所の組織概要  
Institute Information (History, Organization)
- 2) 「文化財に関する専門的アーカイブの拡充」事業  
Project for Expansion of Cultural Archives
- 3) 『日本美術年鑑』の紹介  
*About The Yearbook of Japanese Art*
- 4) 日本資料図書館の国際協力  
International Cooperation Between Japanese Studies Libraries

1

# 東京文化財研究所の組織概要

Institute Information (History, Organization)



帝国美術院附属 美術研究所  
The Institute of Art Research



黒田 清輝  
KURODA Seiki



資料閲覧室  
Library in the Institute of Art Research



美術研究所のメンバー  
Member of the Institute of Art Research

# 組織 Organization

## 無形文化遺産部

Department of Intangible Cultural Heritage

無形文化財研究室

Intangible Cultural Properties Section

無形民俗文化財研究室

Intangible Folk Cultural Properties Section

音声映像記録研究室

Audio-Visual Documentation Section

## 保存科学研究センター

Center for Conservation Science

保存環境研究室

Conservation Science Section

分析科学研究室

Analytical Science Section

生物科学研究室

Biological Science Section

修復計画研究室

Restoration Materials Science Section

修復材料研究室

Technical Standard Section

近代文化遺産研究室

Modern Cultural Properties Section

## 文化財情報資料部

Department of Art Research, Archives  
and Information Systems

文化財情報研究室

Research Information Section

文化財アーカイブズ研究室

Archives Section

広領域研究室

Trans-Disciplinary Research Section

日本東洋美術史研究室

Japanese and East Asian Art History Section

近・現代視覚芸術研究室

Modern/Contemporary Art Section

## 文化遺産国際協力センター

Japan Center of International Cooperation  
in Conservation

国際情報研究室

Resource and Systems Research Section

保存計画研究室

Conservation Design Section

技術支援研究室

Conservation Practice Section

国際遺跡研究室（奈良文化財研究所）

International Cooperation Section of the Nara  
National Research Institute for Cultural  
Properties

無形文化遺産部  
Department of Intangible Cultural Heritage



Shishi-mai at a village destroyed by 3.11 Mega earthquake, Onagawa-town in Miyagi prefecture

文化財情報資料部  
Department of Art Research, Archives  
and Information Systems



Photography of Buddhist paintings from the Heian period (a national treasure) Joint study of Buddhist paintings with the Tokyo National Museum

保存修復科学センター  
Center for Conservation Science and  
Restoration Techniques



Analysis of a painting by a handheld X-ray fluorescence

文化遺産国際協力センター  
Japan Center of International Cooperation  
in Conservation



Survey of the caves in the Barmiyān Valley in Afghanistan

# 文化財情報資料部

Department of Art Research, Archives and Information Systems



美術作品資料/  
Artwork Archives for Art Studies



日本美術年鑑 (1936～)  
Annals of Japanese Art



美術研究 (1932～)  
Journal of Japanese Art



日本美術資料 (1938-1942)  
Artwork Archives for Art Studies



Top page of Tobunken Research Collections

2

文化財専門的アーカイブの拡充事業  
Project for Expansion of Cultural Archives

# 多様な資料・情報

- ✓ 図書・雑誌
- ✓ 様々な印刷物
- ✓ 古文書・古典籍
- ✓ 文化財写真
- ✓ スナップ写真
- ✓ 音声記録
- ✓ 動画記録
- ✓ 計測・分析データ
- ✓ 作業記録
- ✓ 調査メモ
- ✓ 生サンプル
- ✓ 事務文書

研究所全所的な共有物として  
一体的に「アーカイブ」して活用すべし！

2013年度～ 東文研アーカイブ運営委員会発足

# 文化財アーカイブズ構想

スタンダードな  
学術基盤へ

フロントエンド側で  
見せ方やつなぎ方を  
工夫する

目録情報

実データ



ORACLEシステム「刊行物アーカイブ」

# 文化財アーカイブズ構想のスケジュール

2013 刊行物アーカイブシステムの開発  
研究情報検索サイトのリニューアル  
(東文研サイトにおけるワンストップサーチの実現)

2014 蔵書情報の登録・『美術年鑑』編集システムへの応用

2015 実データアーカイブシステムの追加

..... 前中期計画終了

2016～ 目録情報と実データの充実・見せ方の整理と工夫  
外部(学術情報基盤)との連携

20XX システムの見直し

# 東文研総合検索 / Tobunken Research Collections

独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所

## 東文研 総合検索



所蔵資料の検索

文化財関係文献（統合試行版）

情報の検索

研究資料データベースの検索

🔍 クイックサーチ:

検索

▶ データベースを指定する場合は、[ここをクリックして下さい](#)

異体字検索をする場合はチェックを入れてください。(結果表示までに時間がかかります) 異体字リストは[こちら](#)

東京文化財研究所では、文化財アーカイブズ研究室が中心となって外部公開データベースを作成しています。資料閲覧室で管理する図書情報をはじめとし、所内各研究部門のプロジェクトで作成されるデータベースも、随時、外部へ公開し、文化財研究に不可欠な研究情報を発信していきたいと考えています。

- ▶ [所蔵資料の検索](#) - キーワードを指定して、その言葉が含まれている所蔵資料を検索できます。
  - ▶ 所蔵資料の総合検索 - 所蔵資料を簡易検索できます。
  - ▶ 所蔵資料データベース毎の詳細検索 - 所蔵資料のデータベース毎に詳細検索できます。
- ▶ [文化財関係文献（統合試行版）](#) - キーワードを指定して、その言葉が含まれている文献を簡易検索または詳細検索できます。
- ▶ [情報の検索](#) - キーワードを指定して、その言葉が含まれている情報を検索できます。
  - ▶ 情報の総合検索 - 情報を簡易検索できます。
  - ▶ 情報データベース毎の詳細検索 - 情報のデータベース毎に詳細検索できます。
- ▶ [研究資料データベースの検索](#) - キーワードを指定して、その言葉が含まれている研究資料データベースを検索できます。

## 所蔵資料： Library Collection:

美術関係図書 Publications on art

伝統芸能図書

Publications on traditional performing arts

保存修復関係図書

Publications on conservation and restoration

売立目録 Auction catalogues

展覧会カタログ Exhibition catalogues

和雑誌 Periodicals in Japanese

写真原板 Photographic negatives and plates

美術家・美術関係者情報 Information on artists

画廊関係情報 Information on art galleries

## 情報： Information:

美術展覧会開催情報 Art exhibitons

美術展覧会・映画祭開催情報（日本国外）

Art exhibitions and film festivals

(held outside of Japan)

書籍情報（日本国外出版）

Publications on Japanese art

(published outside of Japan)

伝統楽器情報 Traditional Musical Instruments

## 文化財関係文献： References on Cultural Properties (Articles) :

美術関係文献 Art Related Articles

伝統芸能関係三雑誌所載文献 Performing arts Articles

月報（全集付録）所載文献 Articles on Geppō

美術全集所載文献 Articles on Bijutsu zenshū

セインズベリー日本藝術研究所採録記事情報

Articles published outside of Japan (compiled by SISJAC)

## 研究資料： Research Databases:

物故者記事 Obituaries

美術界年史（彙報） Art news articles

年紀資料集成 Collection of historical materials

黒田清輝日記 Diary of Kuroda Seiki

久野健寄贈資料 Kuno Takeshi donated materials

ガラス乾板データベース Photographic plates

新海竹太郎関連ガラス乾板 Photographic plates

associated with Shinkai Taketaro

尾高鮮之助調査撮影記録

Photographic survey records by Odaka Sennosuke

和田新調査撮影記録

Photographic survey records by Wada Shin I

『美術画報』所載図版 Illustrations of Bijutsu Gahō

黒田清輝作品集 Works by Kuroda Seiki

# 東文研 総合検索

検索結果57件中 1件から57件を表示 (全620,665件より、フィルタリング)[表示行数 100 ▼ 件]

著者名	文献名	誌名	通号	巻号	発行年	注意事項	分類	媒体
ヴィオリカ・ヴァシラケ	アレキサンドル・イオン・クーザ大学 (ルーマニア、ヤシ) における青銅製品の分析	文化遺産国際協力 [拠点交流] 事業 「アルメニア歴史博物館における考古青銅遺物保存修復ワークショップ」 (文化庁委託事業)		平成23年度 資料集	20120330		図書	東文
林美木子、ニコラ・マッキオーニ、ピエロ・ティアノ、吉田直人、佐野千絵、イオン・サンツ	〔報告〕ルーマニアにおける板絵の伝統的予防処理方法とその効果	保存科学	50		20110331		雑誌	東文
林美木子、ニコラ・マッキオーニ、ピエロ・ティアノ、吉田直人、佐野千絵、イオン・サンツ	ルーマニアにおける板絵の伝統的予防処理方法とその効果 (保存科学50号)	文化財の生物劣化対策の研究 平成18～22年度 研究成果報告書			20110331		図書	東文
早川美晶	〈最後の審判〉に現れる【関所】—ルーマニア・マラムレシュ地方18世紀の事例—	鹿島美術財団年報別冊	27		20101115		雑誌	
前野まさる	ルーマニアの建築遺産	絲綢之路 (シルクロード) (文化財保護振興財団)	62		20100226	所蔵の有無はカウンターまで	館報	
舘崎麻衣子	「ルーマニアビザンチン法の発生とその歴史的背景」	Fresco 時を航るフレスコ2 ユーラシアのフレスコ技法と現代へのアプローチ (多摩美術大学美術館)			20090730	近代	図録	
浜部貴司	美の美 ビザンチン残照—ルーマニアの宗教画4	日経		12.28	20031228	所蔵の有無はカウンターまで	新聞	
浜部貴司	美の美 ビザンチン残照—ルーマニアの宗教画3	日経		12.21	20031221	所蔵の有無はカウンターまで	新聞	
浜部貴司	美の美 ビザンチン残照—ルーマニアの宗教画2	日経		12.14	20031214	所蔵の有無はカウンターまで	新聞	
浜部貴司	美の美 ビザンチン残照—ルーマニアの宗教画1	日経		12.7	20031207	所蔵の有無はカウンターまで	新聞	
三宅理一	ルーマニア・プロボタ修道院の保存修復事業報告書	日本による文化遺産保存国際協力の現状と問題—国際文化財保存修復研究会の事例から—		地域社会と文化遺産 I	20030300		図書	東文
三宅理一	ルーマニア・プロボタ修道院の保存修復事業報告書	世界の文化財の保存 わが国による国際協力体制構築のための調査・研究		平成10年度～平成13年度科学研究費	20030300		図書	東文

## 藤田嗣治 (レオナルド・フジタ)

没年月日:1968/01/29  
分野:注, 画家 (洋)

元二科会会員、芸術院会員であった藤田嗣治は、1月29日午後1時14分、スイス・チューリッヒのキャンピタル州立病院で前立腺腫瘍のために死去した。享年81歳。臨終には、君代夫人、海老原喜之助、田淵安二、元パリ市議員ジョルジュ・ブラジェが付きそっていた。藤田嗣治は、明治19年(1886)に東京生まれ、東京美術学校卒業後、大正2年に渡仏し、第1次大戦下にはパリにとどまって辛苦の生活を送り、モジリアーニ、スーチンらと親しく交友し、大正8年(1919)ころから「すばらしい白地」(grand fond blanc)と賞讃された独自の乳白の下地に、繊細な描線で描いた作風を展開させて国際的な評価を獲得した。その後、エコール・デ・パリの著名なひとりとして国際画壇のなかで活躍し、大正13年には第5回展帝展に作品を送り、昭和4年に17年振りに帰国して個展を開催した。その後、南米・中米旅行などをへて、昭和15年(1940)第2次大戦下のパリを脱出して帰国し、戦争中は、戦争記録画の第一人者として活躍した。戦後に至って、日本画壇のなかでの中傷など煩瑣さをいとって昭和24年(1949)日本を去ってアメリカ経由でフランスにわたり、昭和30年(1955)フランス国籍を取得し、同34年(1959)には、ランス大聖堂でカトリックの洗礼を受けた。昭和41年(1966)、ランス

## 物故者記事

Database of Obituaries  
(in *Nihon Bijutsu Nenkan*)

『美術画報』所載図版  
Database of Artworks Images  
(in the art magazine *Bijutsu Gaho*)

## 筆者未詳 吉祥天女像



作品名 吉祥天女像 (A GODDESS (KICHI-JO-TEN) \_\_in colours)

作者 筆者未詳 (unknown artist 8th Century)

所蔵者、出品人 南都薬師寺

出品 参考品部 (Ancient Masterpieces)

作品受賞等級

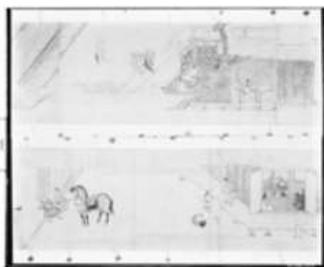
出典 / 管理番号 日本美術画報 初編巻一 (1894年6月25日) / 001-01-015

登録日 / 更新日 2015年3月20日 / 2016年3月29日(更新履歴)

# 尾高鮮之助調査撮影記録 Photographic Survey Records by Odaka Sen'nosuke

## ガラス乾板データベース Database of Glass Dry Photographic Plates

### 03215\_葦曳絵[芦引絵]



- ・ サイズ:四切
- ・ 原板番号:03215
- ・ 作者名:
- ・ 作品名:葦曳絵[芦引絵]
- ・ 旧所蔵者:小林一三
- ・ 現所蔵者:[逸翁美術館]
- ・ 撮影年月日:19381200
- ・ 参考文献:梅津次郎「あしびき絵巻」『美術研究』89 1939年5月  
／『名品図録』(逸翁美術館、1973年10月、図版47)／小松茂美  
編集『続日本絵巻大成』20(中央公論社、1983年11月)

odk\_01\_100.jpg

Angkor Vat / 1931.11.21



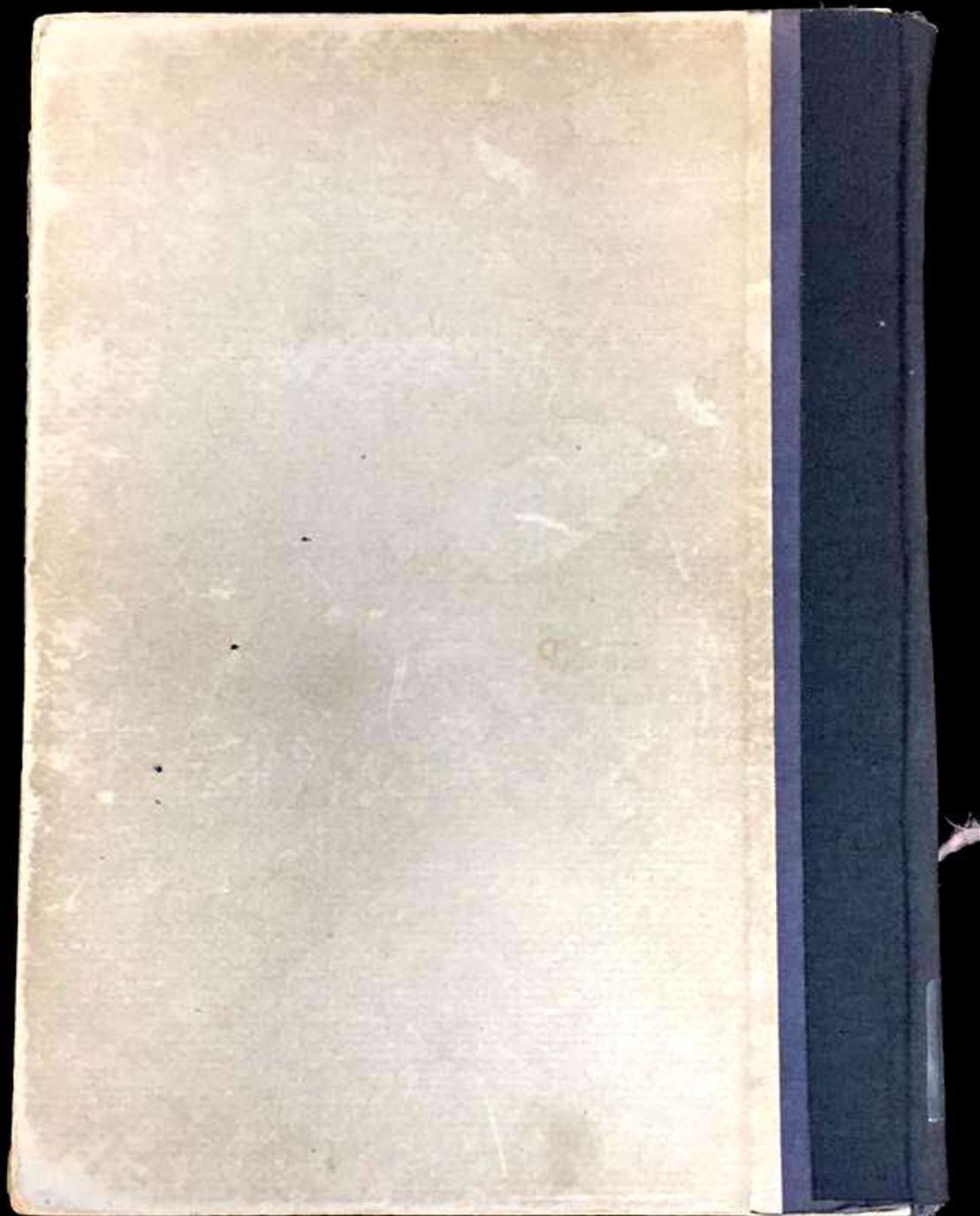
撮影情報 / Information

国	カンボジア	country	Cambodia	<a href="#">more</a>
州	シエムリアップ	state	Siem Reap	<a href="#">more</a>
県、都市	アンコール	city	Angkor	<a href="#">more</a>
地域	アンコール	region	Angkor	<a href="#">more</a>
頁番号	17	アンコール・ワット境内遺構の一部		
図版番号	61			

# 3

## 『日本美術年鑑』の紹介

About *The Yearbook of Japanese Art*





本欄 (261 p.)

挿絵 [作品図版] (129 p.、467点)



便覧 (133 p.)

# 日本美術年鑑昭和十一年版目次

序文……………一  
凡例……………三  
目次……………四

## 本欄

### 現代美術

概観……………六  
主要美術展覧會……………一〇七  
獨立美術展覧會……………一〇  
日本美術院試作展覧會……………一五  
東京府美術館十周年記念展覧會……………一六  
商工省工藝展覧會……………一六  
國畫會展覧會……………一七  
春陽會展覧會……………一八  
青龍社秋期展覧會……………一九  
二科美術展覧會……………二〇  
日本美術院展覧會……………二〇  
第二部會展覧會……………二〇  
現代美術展覧會一覽……………一〇三

五月……………七  
六月……………六  
七月……………八  
八月……………八  
九月……………八  
十月……………六  
十一月……………六  
十二月……………六  
展覧會以外の作品……………一〇四  
建築……………一〇七  
概観……………一〇七  
昭和十年度に竣工せる主なる建築物……………一〇八  
現代美術關係彙報……………一一三  
物故作家及美術關係者……………一一三

九月……………一四  
十月……………一三  
十一月……………一三  
十二月……………一三  
附一東京帝室博物館各月陳列卷……………一七  
古美術關係彙報……………一四  
國貨及重要美術品……………一五  
昭和十年度國費指定……………一五  
昭和十年度重要美術品認定……………一五  
國貨修理……………一七  
朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令に依る指定……………一七

挿繪(編目寫真版)  
日本畫(一八九圖)……………一  
洋畫(一五七圖)……………六  
彫刻(六三圖)……………一〇  
工藝(二五圖)……………一三  
建築(三三圖)……………一六

## 便覽

### 美術關係法規

帝國美術院……………一〇  
美術市場……………一〇  
賣立高値表……………一〇  
東京美術俱樂部……………一八  
京都美術俱樂部……………一九  
大阪美術俱樂部……………一九  
名古屋美術俱樂部……………一九  
昭和十年度美術文獻目錄……………二〇  
凡例……………二〇  
現代美術文獻目錄……………二〇  
東洋古美術文獻目錄……………二一  
國貨保存法……………一  
國貨保存法施行令……………一  
國貨保存法施行規則……………二  
國貨保存會官制……………四  
國貨保存會職員……………五  
重要美術品等保存……………五  
重要美術品等ノ保存ニ關スル法律……………五  
重要美術品等ノ保存ニ關スル法律施行規則……………五  
重要美術品等調査委員會規程……………六  
重要美術品等調査委員會職員……………六

### 史蹟名勝天然紀念物保存

史蹟名勝天然紀念物保存法……………七  
史蹟名勝天然紀念物保存法施行令……………七  
史蹟名勝天然紀念物保存法施行規則……………七  
史蹟名勝天然紀念物調査委員會規程……………八  
史蹟名勝天然紀念物調査委員會職員……………八  
朝鮮寶物古蹟名勝天然紀念物保存……………八  
朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然紀念物保存令……………八  
朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然紀念物保存會官制……………一〇  
朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然紀念物保存會職員……………一〇  
著作權保護……………一〇  
著作權法……………一〇  
著作權審査會官制……………一〇  
著作權審査會職員……………一〇  
改正ヘルメス條約……………一〇

### 美術獎勵施設一覽

帝室技藝員……………三  
帝國美術院……………三  
商工省工藝展覧會……………六  
商工省輸出工藝展覧會……………六  
京都市美術展覧會……………六

### 名古屋市美術展覧會

朝鮮美術展覧會……………三  
臺灣美術展覧會……………三  
美術研究施設一覽……………三  
工藝指導所……………三  
陶磁器試驗所……………三  
美術研究所……………三  
東方文化學院……………三  
日本古文化研究所……………三  
其の他の官公立研究所……………三  
美術教育施設一覽……………三  
東京……………三  
學校……………三  
研究所……………三  
京都……………三  
學校……………三  
研究所……………三  
大阪……………三  
學校……………三  
研究所……………三  
其他……………三  
美術觀覽施設一覽……………三  
帝室博物館……………三

### 關東地方

東京……………三  
地方……………三  
奧羽地方……………三  
中部地方……………三  
近畿地方……………三  
京都……………三  
大阪……………三  
奈良……………三  
地方……………三  
中國地方……………三  
四國地方……………三  
九州地方……………三  
臺灣、朝鮮、關東州……………三  
美術團體一覽……………三  
主要團體……………三  
其他……………三  
展覽會場一覽……………三  
東京……………三  
大阪……………三  
京都……………三  
其他……………三  
美術關係定期刊行物一覽……………三

### 現代美術關係

古美術關係……………三  
美術家及美術關係者名簿……………三  
五十管順……………一〇九

# 本欄

# 現代美術

## 概観

昭和十年は、其の藝術自體の動きよりは美術行政的方面及び美術界全般の世間的な動きに於て、我が美術史上に特記されるべき重要な一年であつた。即ち岡田内閣の下に松田文部大臣によつて断行せられた所謂帝國美術院の改組は、美術界の全般に異常な衝動を與へ、其の後の美術界はこの問題を中心として、別記(筆墨參照)の如き活潑、複雑な動きを示したのであつた。

改組の事が五月末突如として發表さるるや、美術界の全神経は之に集中され、其に對する賛否に拘らず多くの美術家及び美術團體は之に反應して俄に緊張した動きを示し、特に不満を感ずるものの間では、之が對策として諸種の運動を勃發させたのであつた。聲明書、建議書の頻發、團體の結成演出等、凡そ美術界の現象としては殆ど其の例を見ざる迄の激しさを以つて行はれた。是等の事件が新聞記事を賑はし、一般社會が美術界の動きをこれ迄に無い興味を以つて注意し始めた事も特記すべきであらう。

改革の事が發表されてより半歳餘、目まぐるしく喧騒を極めた此の事態は、年を終るまで何等の落着を見るに至らず、其の儘翌年に持ち越されることとなつた。

斯うした美術行政的論議と政治的活動の爲に貴重な時間と精力を費した作家も少く無く、又美術界の混亂の爲に受動的に焦慮の中に追ひ込まれて制作の手の鈍つた作家も可なりあつたやうである。斯かる紛擾が美術の爲に好ましくならざることと言ふ迄もないが、一般的には、本年度中にそれが藝術制作自身に差して大きな影響を與へず、複雑な動きを示したのであつた。

芋饅の「雲層露水」等を初めとし、多くの優品が發表された。院展系作家で院展以外にも最も活躍せる作家は横山大觀と前田青郎であるが、大觀が前述の「飛泉」の外に特に傑作と稱すべきものを見せなかつたのに對し、青郎は四月中旬新に組織された踏青會に「眞鶴の沖」を出品、餘り氣乗りのしなかつたらしい他の作家の出品作の中に獨り出色の出来栄を示し、更に五月初旬には、岩崎家より御大典記念として献上する「獅子」大屏風一雙を完成した。之は雄渾にして豪華なる構想と色彩効果を示した傑作であつた。

岩崎家よりの五雙の献上屏風は之を以て四雙完成、最後の一雙は十月堂本印家に依つて完成された。「松鶴佳色」と題する水墨畫で、其の圓熟せる筆技を見せた壯麗なる畫趣は、青郎の「獅子」と共に本年度の名作として誇り得るものであらう。印象は恐らく本年最も好く活動し、最も多くの仕事を殘した作家で、此の外、衆議院議員一同より皇太子殿下御降臨を奉祝して献上した大屏風「翔翔開雲」一雙及び大和信貴山成福院の襖繪三十餘枚を完成した。

聖徳記念繪畫館の日本畫の部が、洋畫家の岡田三郎助の描くべき一枚を殘して、全部完成した事も特記すべき事である。即ち、未完成であつた四枚の中、鐵道省奉納の小村大雲作「鐵道開通武行幸」は五月末、徳川慶光公奉納の村田丹陵作「大政奉還の圖」は十月十五日、大阪市奉納の菅原茂作「皇后册立」は十二月初旬完成を見、其々繪畫館に奉納された。日本畫は此處に續繪とは違つた廣く社會に働きかける公共的な新しい仕事の領域を見出し、歴史畫の新しい復興の道も開かれたわけであるが、此の仕事の意識と性質とを十分理解して、其の記念碑としての使命を藝術的に完成せしめた作家は幾多ながら少なかつた。

本年の日本畫には洋畫界と異つて、新しき傾向或は新しき運動の特筆すべきもの無く、僅に六月開かれた山樹社及び新日本畫研究會の合同展に、舊來の傳統から離れて新時代の「日本畫」を樹立しようとする試みが見られた。

たとは見られなかつたやうである。之は、院展、二科、第二部會等の出品作が例年に比して優るとも劣らない出来栄を示した事によつても分る。のみならず、今次の改組が帝國美術院及び其の展覽會に及ぼした効果は未知数としても、之に基く動搖は反つて一種の刺戟となつて、作家に反省と努力とを促したことが認められる。二科展に於ける中堅作家の活躍と其處に見られた清新味、第二部會の一部會員中に見られた自由な作畫態度への轉向等は其の好例と言へるであらう。

## 日本畫

本年は帝展が開かれず、而も日本畫界では洋畫の第二部會に相當するだけの抱擁力を有つた大團體が結成されず、やゝ之に近い第一部會も遅れて成立して、展覽會を催すに至らなかつたので、舊帝展に出品してゐた作家等の社會に發表する所は甚だ少かつた。唯新帝國美術院會員及び所謂參與級の作家が、淡交會、青々會、七弦會、洞々會、及び今年新に組織された春虹會、踏青會に、大作では無いが、相當力作を示したのみである。是等作家の作品は其の他にも百貨店及び畫商が臨時催した小展覧に見られたが、其の他所謂舊帝展系の若い作家達の力作が世に發表されたもの少かつたのは寂しかつた。

舊帝展系作家が前記小展覧と十二月の三越日本畫展の外發表の機會を殆ど持たなかつたのに對し、院展系作家は春秋二季の展覽會に堂々たる發表の機會に恵まれた。共に試作展とて大作は比較的家なかつたが、それでも横山大觀の「飛泉」、小林古徑の「白日」、小川うとする試みが見られた。其の中には材料のみ日本畫で其の手法は洋畫に近く、其處に現れた觀照も洋畫によつて表現するを妥當と思はしむるものもあつたが、岡田豊四郎等の超現實主義的作品は、未だ試みを出ぬとは云へ、新たな日本畫の一つの道として將來の發展を期待せしむるものであつた。

「健全なる會場藝術」を目指して居るだけに、小さいながらに目覚ましい活動を見せたのは青龍社であるが、川端龍子が秋期展に水墨淡彩で大畫面の線描を試みた以外には、大體に於て此の會の從來の傾向をそのまゝ進めたに過ぎない問題も提出するやうなものは無かつた。同展出品の杉本哲郎の「樵夫」は日本繪具で描いた、イタリヤ十五世紀の壁畫を思はせるやうな堅い線の大畫面であつたが、之は新しい傾向と見るよりは特殊なる例外的作品と見る方が適當であらう。

日本畫界は本年、高取稚成、連水御舟、樺澤菱花等を失つたが、中には常に探求して止まず、新しい道を拓き開いて行つた、連水御舟の死は、未來を期待せられて居ただけに大きな損失であつた。優秀作家のみを集めた小展覧の多かつた事は既に述べたが、個展の次第に旺んになつて來た事も、終りに一筆して置くべきであらう。密着に煩はされ、短時間に會場を一巡せんとする觀客に質を異にする他の作家の作品と共に一瞥を投げられるだけの大展覽會よりは、個展に依つて觀者は少くとも、眞實なる鑑賞を求めんとする氣持が次第に作家の中に強くなつて來たらしい事は頼もしい傾向である。例へば伊東深水是六月初めての個展を開いたが、美人畫專門家として「漸くマンネリズムに陥りかけて居る」事を自覺して、素材を美人畫に限らず廣く自然の事象一般に求め、贈物、風景畫等をも試みて居た。大展覽會には斯うした試作は避けられてつい手慣れた題材に終始してしまふ傾が多い。

## 概観 Overview

# 主要美術展覽會

## 獨立美術協會第五回展覽會

於東京府美術館  
三月六日—二十五日

創立當初の此の團體の主義はフランスの所謂フオーヴィズムに倣ふものであつたが、此の道をそのままに探る時日本に生活する日本人として當然到達しなければならなかつた行詰りと、近頃の國粹思潮も手傳つて、「新日本主義」として色々な形での意識的な日本化が、此の會の指導的立場にある三、四の會員達によつて近時唱道せられその試みが此の春の展覽會に展覧された。日本に於て日本人の創作する藝術には意識的な日本化の努力は無用の事であるが、此の會の會員の多くが純歐風のフオーヴィズムを習つて國際的な藝術を目指して居た所から、其よりの趣向には對うした意識的努力も必要となつて來る事は肯ける。のみならず近時日本の凡ての文化の分野に於て、過去の歐米模倣主義を止揚し、新日本文化の建設が努力されつゝある現在に於て、「新日本主義」なる標語を掲げる事は自然な欲求でもあつたであらう。併し此の會の三、四會員によつてなされた此の宣言は従来の作風に固つて其の結び付きの唐突さを感じさせ或は時流に迎合する如き感と一般に與へたのは餘儀ない事であつた。殊に此の日本化なる意識的努力に依つて、無理な形式上の日本化を企てた拙劣な作品が出品畫中に見られたのは残念であつた。

此の展覽會で、特に日本畫的要素を採り入れて居る作品の中、最も成功して居るものは兒島善三郎の諸作であつた。平面的な様式化

に好く成功して居た。但し日本畫的要素を採り入れたと云ふだけで之が時に日本的な作畫態度であるかどうかは甚しく疑問である。之はむしろ佛國のフオーヴィズムの作畫態度を以つて日本畫の平面裝飾的取扱ひを試みたものと見るべきものゝやうである。併し此の事が作品の價値を減ずると云ふ譯ではない。「新日本主義」の悪影響はむしろ日本風な様式をつけた類縁を、繪との不調和をも醸すに用ひた點に見られる。

藝術的には之と較べて落ちるが非常に日本人らしい體照と技巧を示したものに林東義の作品があつた。雪景山水、山嶺秋霽など題まで日本畫らしいものを用ひて居た。外に日本のものを製作せんと意圖して目立つものに伊藤康の「雨霽」があつた。日本畫には好んで取材される霧にけふる山水風景である。從來とても霧にかすんだ風景が洋畫に取扱はれなかつたとは云へぬが、墨繪に於て、暗かしくによつて表現される霧自身的美と云ふものは洋畫に見られなかつた所である。それを作者は此處で企てたのであるが、相當の技巧にも拘らず結果は成功したものと云ひ難い。油繪具のそれに類せぬ事が第一の理由であらう。既に色と云ふものがかうした美の表現に邪魔になる。霧にけふる山とて色はあるが、我々はその色を表はして居る彩色畫よりも一色の墨繪の方に遙かに眞實性を感じる場合が多いのである。

外の點では特に、「新日本主義」を意識して居るとは見えないが、廣重あたりから考へたものであらうか雨を線やウルトラマリンで強く貫徹を成して、その點では成功して居たのが小林和作の風景畫「通り雨」「日照雨」であつた。唯風景の表現に細かい味と變化の

## 古美術

も其の焼損の甚だしいのが惜まれた。  
 亞歐堂田善作展覧會 於美術研究所  
 二十七日—二十八日

美術藝話會の展覧の爲に田善の郷土福島縣須賀川より齎した遺品を、美術研究所が公開展覧したものである。出陳數七十一點須賀川の諸家藏の田善遺作を主とし、之に田善の家見山、門人田一、田賦の遺品と神戸池長家藏の田善遺作等が加へられた。

## 十一月

時代工藤美術品展覧會 於日本橋高島屋  
 一日—五日

鎌倉國寶繪繪特別陳列 於鎌倉國寶館  
 一日—七日

左の通り鎌倉古寺所藏の繪卷を集めて展覧した。其中、長谷寺緣起(弘治三年の奥書あり)を除けば何れも圖日の機會多く親しき繪卷であるが、斯く一堂に集め全卷を展いて同時に觀覽に供されたことは研究者に幸であつた。

- 當麻曼茶羅緣起 二卷 光明寺藏
- 淨土五祖繪傳 一卷 同
- 頼徳阿彌陀緣起 二卷 光福寺藏
- 長谷寺緣起 二卷 長谷寺藏
- 歐亞古美術展覧會 於日本美術協會  
 一日—十日
- 浮世繪肉刺畫特別展覧會 於演劇博物館  
 一日—十日

本阿彌光悅展覧會 於恩賜京都博物館  
 一日—十五日

光悅の遺墨四十九點、尺牘十三點、遺作品二十九點、參考品十四點、其他光甫、口允、素庵等の遺品十數點等、通じて百二十點許が出陳された。遺墨のうち下繪を除いて繪畫として數ふべきは左記三點である。

- 和歌散書月秋草圖 八曲小屏一葉 帝室博物館藏
- 白兔秋草圖扇面 一幅 畠山一清氏藏
- 竹圖 六曲屏一雙 村山長學氏藏

是等の畫蹟が何れも容易に光悅其の人の跡と考へ得ないことは、既に定説のある所で今更めて云ふべくもないが、其の他多數の書蹟に至つても是れこそ紛ふ方なき光悅として品鑑し得るものは寥寥として僅に本法寺の法華經目抄、妙蓮寺の立正安國論等を除けば、漸く大原孫三郎氏藏蓮花下繪卷断片がそれかと思はれる程であつた。ただ會期半に至つて國家、益田家の定評ある名品が出品され、これこそ遺憾なく光悅の風貌を忍ぶことが出来ると思はせた。

- 高野山靈寶館特別展覧會 於高野山靈寶館  
 一日—三十日
- 十三松堂藏品展覧會 於東京美術學校  
 四日—九日、工本記念館開館記念
- 十一月一日正木記念館開館式が舉行されたのを機會として、同記念館及び隣接する同校陳列階上に正木直彦氏の蒐藏品を陳

列展覧した。書蹟、繪畫、造像、典籍、兩列、鐵鏡、几案、古硯、筆墨刀子、書硯、香爐、香合、壺、花瓶、茶瓶、水指、水瓶、茶入、茶盤、酒器、鉢皿、雜、總計三百三十三點。

光悅三百年忌記念大茶會 於京都光悅寺  
 十一日—十三日

支那古美術展覧會 於大阪美術俱樂部  
 十三日—十五日、山中商會主催

時代隨能衣裳展覧會 於日本橋高島屋  
 十三日—十七日

法恩寺國寶展覧會 於琦玉縣入間郡法恩寺  
 十七日

時代民藝品石燈籠展覧會 於日本美術協會  
 二十六日—三十日

國華社講演及展覧 於廣有國華社  
 三十日

- 朝鮮古美術展覧會 於大阪松坂屋  
 三十日—十二月五日
- 十二月
- 菊池馨齋作品畫稿展覧會 於美術研究所  
 二日
- 大津繪展覧會 於大阪三越  
 七日、五月福三浦直介氏蒐集
- 岡部・下村・香取諸氏收藏品陳列 於東京美術學校  
 九日
- 菊池馨齋藏畫展覧會 於東京美術俱樂部  
 十九日—二十一日



# 挿絵「作品図版」



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



牛 (牛) 坐像 (牛)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



竹 (竹) 坐像 (竹)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



長壽寺 (長壽寺) 坐像 (長壽寺)



# 便覽

### 美術團體一覽

#### 主要團體(五十音順)

#### 構造社(影)

東京市豊島區池袋四ノ六三  
電話大塚一八四四(呼出)

大正十五年九月立體藝術の研究及發表を目的として發會者、日名子實三の兩人を以て發會、昭和二年東京府美術館に第一回展を開いた。同年神津港人入會し、同三年の第二回展より洋畫部を加設、四年構造社彫塑研究所を開設。七年會内に粉繪が起り九月第六回展終了後發會者數が脱會し、引續き日名子實三、清水三重三も退會するに及び、一時、同會解散を聲明したが、同月繪畫部の提唱に依りそれを取消し事務所を神津方に移し第七回展を開く旨を宣言し且つ彫塑研究所を開張した。八年齋藤素峯復歸し、九年會則を改め新會員、彫塑部三十三名、繪畫部二十一名を加へた。十年五月齋藤素峯帝國美術院會員任命を受ける。彫塑部會員は後の行動を承認せず一時齋藤、濱田、陽三名を残すのみにて全會員脱退したが内三名は前記三名の要請に依り留まつた。而して、繪畫部は依然彫塑部の新帝院に對する方針に

反對せるため繪畫部會員神津港人は六月脱會し、同月彫塑部は繪畫部解消を聲明した。

〔會員〕 濱田三郎、荻島安二、河村龍興、中野五一、野村公雄、安永良徳、後藤泰彦、後藤清一、寺相助之丞、齋藤素峯。

#### 國畫會(洋、彫、工)

東京市墨川區北品川  
三ノ三二一、益田方  
電話高輪三〇三六

大正七年一月小野竹高、土田復徳村上蕪香、野長瀬純花、藤原素峰の五名は従来の文展の藝術に飽き足らずとなし、竹内福風、中井宗太郎を顧問として國畫創作協會を設立。爾來每年秋季に東京及京都に於て協會展を開催し來り又入江波光はじめ數名の若い作家を同人に推薦したが、大正十五年梅原龍三郎、川島理一郎の兩名を迎へて第二次を新設し更に富本憲吉、金子九平次を加へて彫刻と工藝美術を第二部に置いた。その後會の經營維持困難となり、昭和三年七月終に國畫創作協會は解散となつたが、第二部は其體留して、國畫會と改稱し、大橋幸吉、梅原龍三郎、川島理一郎、金子九平次、富本憲吉、山脇信徳の舊會員に新高村光太郎、樺真珠、河野通勢の三名が参加し、

昭和四年「第四回國畫會展」と稱して洋畫、彫刻、工藝に互る公衆展を開催した。爾來同展を繼續して昭和十年第十回展に及ぶ。十年五月帝國美術院改組に際し梅原龍三郎及富本憲吉は新帝院會員に任命された。六月川島理一郎は聲明書を公表し、同會を脱退するに至つた。

〔會員〕 梅原龍三郎、大橋幸吉、川西英、河野通勢、柏木俊一、清水多嘉示、芹澤鈺介、樺真珠、辻愛造、富本憲吉、濱田庄司、バーナード・リッチ、平塚運一、宮坂勝山脇信徳、山下品敏  
〔會友〕 二十九名

#### 同會第十二回展出品規程抜萃

一、本展覽會は東京及び大阪に於て左記の規定に據り開催す  
一、本展覽會は同人と雖も自己の製作したる繪畫、彫刻、美術工藝品、版畫を出品することを得  
一、出品作品はすべて鑑査を行はる上陳列す  
一、鑑査審査は本會々員會友其の任に當る  
一、陳列中の作品を審査し卓越せる作品に對して國畫會獎金を贈る  
一、工藝部は之一部二部に分け左記の者各部の審査を擔當す出品者は希望部を目錄に明記され度し

第一部 富本憲吉  
第二部 濱田庄司、芹澤鈺介  
一、出品作品に對しては左記の手續を要す  
一點毎に 金五十錢

一、出品作品は必ず本會所定の出品目錄及び出品手數料を添へ所定の期日内に上野公園東京府美術館内本會臨時事務所に搬入せらるべし  
一、地方出品は豫め所定の期日まで目録及び上記の手數料を添へて所定の場所に着す様に送附せらるゝを要す(地方より會場宛に發送せられたるものは受理し難きことあるべし)

一、出品作品はそれ〴〵陳列に適當なる設置をなし、また其の裏面に本會所定の出品票に題名氏名等を明記の上貼附せらるべし  
一、出品作品に對する不慮の損害に就ては本會其の責を負はず  
一、出品作品の撮影印行等の權利は本會是を保留す  
一、鑑査に入選せざる出品作品は鑑査結果發表後出品者に通知す。通知後五日間以内に通知書と引換を搬出せらるべし。若し通知期間を経過するも搬出なき時は運賃先拂にて送附すべし

### 美術教育施設一覽

#### 東京

#### 學校

#### (官立)

#### 東京美術學校

下谷區上野公園  
電話下谷〇〇〇一

福岡市堅粕町 福岡縣久留米工業試驗場(染色)  
久留米市津福町 福岡工業試驗所(製紙、木工)  
福岡縣八女郡福島町 福岡工業試驗所(木工、竹工、其他)  
福岡縣八女郡福島町 福岡縣八女郡福島町 大分縣工業試驗場(醸造、染織、化學、花粧、窯業)  
大分市大字大分 佐賀縣第一窯業試驗場(窯業、陶業)  
佐賀縣第一窯業試驗場(陶器)  
佐賀縣西松浦郡有田町 同窯業指導所(窯業)  
佐賀縣津浦郡鹽田町 熊本市立工業研究所(木工、漆工、陶業)  
熊本市新町 長崎縣立窯業指導所(陶器)  
長崎縣東彼杵郡土佐佐見村 同分場  
長崎縣東彼杵郡折尾瀬村 宮崎縣立工業指導所  
宮崎市 鹿兒島縣工業試驗場(製紙、醸造、染織、陶業)  
鹿兒市市原良町 同染織指導所(染織、陶業)  
鹿兒島縣大島郡名瀬町 沖繩工業指導所(染織、窯業、漆器)  
沖繩縣島尻郡真知志村

東京美術學校は明治二十年十月勅令を以て設置せられ、同二十二年二月授業を開始した。翌年初代校長濱尾新一代つて岡倉登三學校長となつたが、三十一年退職し、彼と共に教授濱本雅邦以下多數の教授、助教が辭職した。高嶺秀夫、久保田耕に次いで三十四年正木直重學校長となり、昭和七年に及び、次いで和田英作代つて學校長となり現在に及ぶ。昭和八年規程の改正を行つた。

本校の學科を本科と國畫師範科とに分ける。本科は更に之を日本畫科、油畫科、彫刻科、工藝科及建築科に分ち、更に彫刻科を塑造、木彫、工藝科を陶業、彫金、鍍金、鑄金、漆工の各部に分つ。修業年限は本科四年、國畫師範科三年、本科に入學す

るには豫科の課程一年を卒へることとする。昭和十年五月の統計によれば生徒總數七三六名であるが今便宜上各科豫科、及び師範科一年の生徒數を示せば次の如くである。

日本畫科	二〇名
油畫科	三七名
彫刻科塑造部	一五名
同 木彫部	七名
工藝科陶業部	一六名
同 彫金部	五名
同 鍍金部	四名
同 鑄金部	六名
同 漆工部	七名
建築科	七名
國畫師範科	一五名

生徒募集人員は毎年多少の變更もあるが大體前表の如くである。入學資格は、中學四年修了程度(但し國畫師範科は中學卒業程度)。實技及學科の入學試験を行ふ。

本科は將來作家として立つべきものを養成するのであるが本科卒業生と雖も在學中特定の學課目を修了したるものには中等教員無試験檢定の特典が賦與されてゐる。

此他研究科、選科及聽講生があるが、目下の處選科生及聽講生は在學してゐない。授業料は豫科、本科、選科、一年各八十圓、研究科五十圓。

又本校には文庫があつて圖書標本を收藏し、陳列館及正木記念館があつて諸種の展覧を試み、何れも生徒學習の參考に資する。

〔校 長〕 和田 英作  
〔名譽教授〕 正木 直重

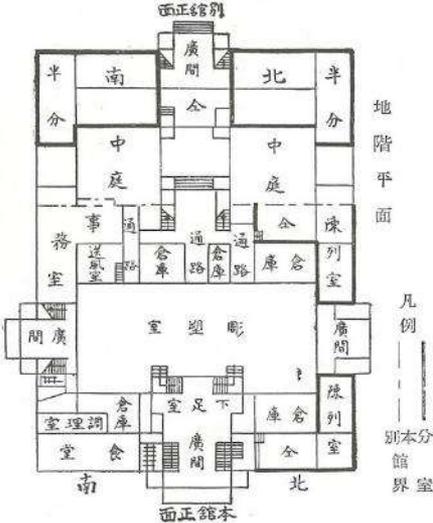
〔教 授〕

岡田三郎助	川倉芳三郎
藤島 武二	森井 健介
結城 貞松	多賀谷健吉
六角注多良	佐々木 卓
小林 萬吉	津田 信夫
清水 龜藏	次代 幸雄
建昌彌一郎	朝倉 文夫
北村 西一郎	南 薫造
和田 三造	香取秀治郎
石田 英一	田邊 至
森田龜之助	小泉 勝前
湯野 清	田邊 孝次
關野金太郎	高村 豊周
廣川松五郎	

〔生徒主事〕 佐々木 卓 森田龜之助  
田邊 孝次

〔助教〕 松田 義之 松垣 龜雄  
山谷 武彦 松田 樞六  
水田 廉 岡田 四三  
森田 武 野口 六三  
山崎寛太郎 常岡 文雄  
伊原宇三郎 西田 正秋

展覽會場



凡例

—— 分室

—— 別館界

日本美術協會列品館

下谷區上野公園樓ケ丘  
電話下谷一九一〇

大正十年の竣工にして平家建、延坪五百二坪。同館は日本美術協會主催の展覽會に使用し、原則としては他に貸館しない。

紀伊國屋ギャラリー

洋畫の展覧に適す。壁面約十四間

(備考)

繪畫陳列室壁面延長合計 八百三十七間

本館畫 壁

同 第一分區室 五百二十五間

同 第二分區室 百十五間四尺

同 第三分區室 百〇九間五尺

同 第四分區室 百〇七間二尺

同 A 室 二十二間

同 B 室 二十間二尺

同 漆喰壁ノ室 四十間三尺

同 彫塑室 三百七十六坪

同 工藝陳列室 二百三十四坪

別館主階全部 三百十二間

同 南分室 百四十一間

同 北分室 百四十一間

同 C 室 十九間

同 工藝室 三百六十一坪

美術及美術工藝品の展覧を主として使用申込みを受けたる後相當の設備を経て貸否を決定す。最小壁面約十間、最大壁面約廿間。(使用料一日(午前九時~午後九時)金四十圓、(看板費、看守費、電燈費等を含む)(京橋區銀座七丁目)

青樹社

同店の場合により洋畫展覧會に限一箇月一回(五日乃至七日)貸館す。陳列室は階上階下の二室より成り、使用料は階下一日廿圓、一週間百三十圓、全館使用は以上の倍額である。(京橋區銀座四ノ四、電話京橋三六七八)

銀座・三味堂ギャラリー

會場は主に同店主権の洋畫展覧會に使用するが、主催限のなき場合特に貸貸をすることあり。使用料は五日間百圓程度。廣さ約廿坪、壁面約百尺。經營者、鼎越震六、同店美術部責任者、西川武郎(京橋區銀座八ノ二、電話銀座一八〇八)

資生堂ギャラリー

美術及美術工藝品の展覧を主として使用申込みを受けたる後相當の設備を経て貸否を決定す。最小壁面約十間、最大壁面約廿間。(使用料一日(午前九時~午後九時)金四十圓、(看板費、看守費、電燈費等を含む)(京橋區銀座七丁目)

其職務を代理す

第七條 本館に顧問評議員及常議員若干名を置き知事之を委嘱す顧問及評議員は重要な職務に關し館長の諮問に應じ又は意見を開陳するものとす

常議員は評議員中より知事之を委嘱し館の使用其の他常務に關する事項を審議するものとす

第八條 評議員會及常議員會の議長は館長之に當る館長事故あるときは館長の指名したる者之を代理す

第九條 評議員會は毎年一回之を開く但し必要に應じ臨時會を開くことあるべし

常議員會は毎年二回之を開く但し必要ある場合に於ては臨時之を召集す

使用規定披露

第一條 本館ハ左記目的ヲ有スルモノニ限リ本使用規定ニ依リ使用セシム

一 美術ニ關スル創作ノ展觀

二 新古美術品ノ陳列

三 其ノ他美術ニ關スル事業

前項各號ノ使用者ナキ場合ニ限リ藝術等ノ諸會ニ臨時使用セシムルコトヲ得

第二條 本館ヲ使用セムトスル者ハ

第三條 前條ニ依リ承認ヲ受ケタルモノハ左ノ通使用料ヲ前納スヘシ但シ特別ノ事情アリト認めルトキ

アルヘシ

使用料ハ當分ノ内別表ニ依ル

場所	時期	一日ニ付二五〇円	三日ニ付	五日ニ付	七日ニ付	十日ニ付	一月ニ付
全館	一月	二五〇	七五〇	一、二五〇	一、七五〇	二、二五〇	四、〇〇〇
第一階(彫塑室及地階)	一月	三五〇	一、〇五〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	二、五〇〇	四、〇〇〇
全部(陳列室ヲ除ク)	一月	三五〇	一、〇五〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	二、五〇〇	四、〇〇〇
本館全館(地階室ヲ除ク)	一月	三三〇	一、〇〇〇	一、四〇〇	一、八〇〇	二、二〇〇	三、五〇〇
彫塑室	一月	八〇	二四〇	三二〇	四〇〇	四八〇	七五〇
本館第一階全部(彫塑室ヲ除ク)	一月	二二〇	六六〇	八八〇	一、一〇〇	一、三二〇	二、〇〇〇
三ヶ分區室	一月	一五〇	四五〇	六〇〇	七五〇	九〇〇	一、二五〇
二ヶ分區室	一月	一〇〇	三〇〇	四〇〇	五〇〇	六〇〇	八〇〇
一ヶ分區室	一月	六〇	一八〇	二四〇	三〇〇	三六〇	四八〇
地階陳列室全部	一月	六〇	一八〇	二四〇	三〇〇	三六〇	四八〇
別館主階全部	一月	一〇	三〇	四〇	五〇	六〇	八〇
一ヶ分區室	一月	一〇	三〇	四〇	五〇	六〇	八〇
地階陳列室	一月	一〇	三〇	四〇	五〇	六〇	八〇
同分區室	一月	一〇	三〇	四〇	五〇	六〇	八〇

ニ一分區室ノ使用料ノ四分ノ一ニ當リ料金ヲ加ヘ納ムルモノトス彫塑室ヲ分割シテ使用スル場合ハ全室トノ割合ニ應ジ使用料ヲ徴ス前

ヲ爲サトスル使用者ハ之ニ要スル入夫賃等ノ諸費ヲ負擔スルモノトス

看守受付下足等ニ關スル事項ハ自己ノ負擔ニ於テ使用者之ヲ施設スルモノトス

第四條 本館使用ノ承認ヲ受ケタル後之ヲ他ニ轉貸スルコトヲ得ス

第五條 既納ノ使用料ハ之ヲ還付セス但シ左ノ場合ニ於テハ其ノ一部若クハ全部ヲ還付スルコトアルヘシ

一 不可抗力ニ因リ指定ノ場所ヲ使用スルコト能ハサルコトキ

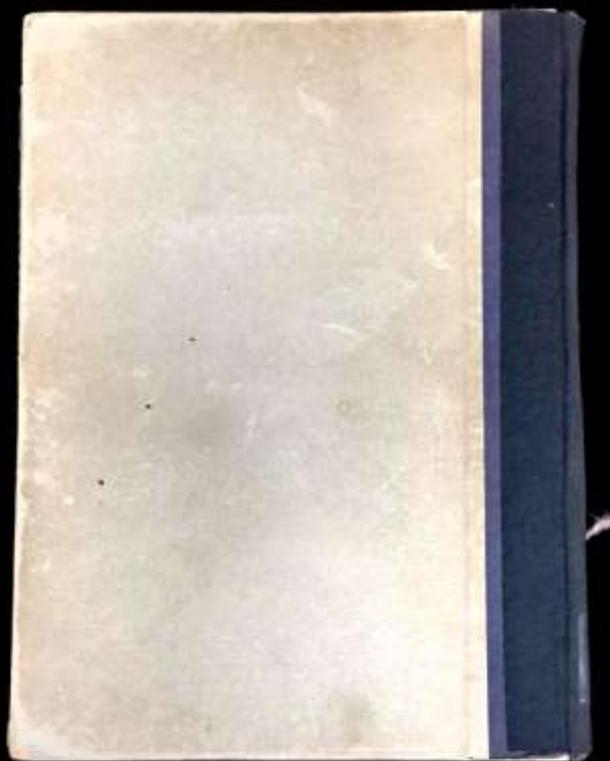
二 本館ノ都合ニ依リ使用承認ヲ取消シタルキ

第六條 使用者ニ於テ切符賣場其ノ他特別ノ設備ヲ爲サトスルモノハ本館ノ承認ヲ受クヘシ

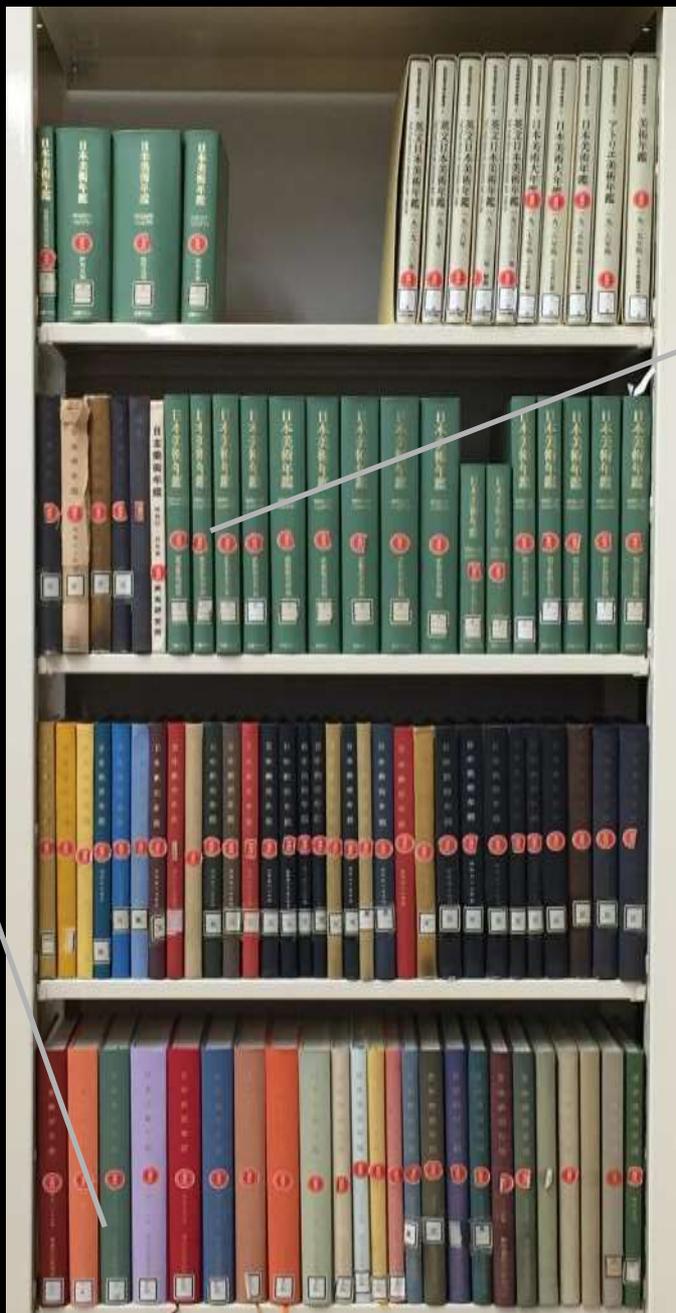
第八條 使用者使用ヲ終リ又ハ使用ヲ中止シタルトキ若クハ使用ノ承認ヲ取消シタルトキハ速ニ使用ノ場所ヲ原狀ニ回復シ館長ノ檢査ヲ受クヘシ館長ハ使用者ニ對シ必要ニ應ジテ更ニ適當ノ措置ヲ命スルコトヲ得

(使用料) 一日(午前九時~午後九時)二十五圓、借用申込の際約定金として一日分を請求す。(京橋區銀座六ノ一)





1936 → 2016



～ 1944年  
復刻版（国書刊行会）  
Reprint (Kokusho kankōkai)

近年刊行  
中央公論美術出版  
Chūō Kōron Bijutsu  
Shuppan

# 4

日本資料図書館の国際協力

International Cooperation

Between Japanese Studies Libraries

# 日本への期待 Expectations for Japan

## アクセスを容易に To make access easier

- 言語 Language
- 使いやすいデータベース A user-friendly database
- 制度 Systems
- 思い込み/固定観念 “Subjective views” / “Fixed preconceptions”

## 情報の豊富化 To make more information available

- メタデータの標準化 Standardized metadata
- 連携,統合,プラットフォーム Link, integrate, platform

小出いずみ「アウェイとホーム」

(『公開ワークショップ「日本美術の資料に関する情報発信力の向上のための提言II」報告書』、JALプロジェクト実行委員会、2016.3)

4-1

セインズベリー日本藝術研究所との  
「日本芸術研究の基盤形成事業」

Project “Shaping the Fundamentals of Research on  
Japanese Arts” with the Sainsbury Institute for the Study of  
Japanese Arts and Cultures

4-2

ゲッティ研究所との

日本美術の共同研究推進に関する協定

Agreement Concerning promotion of the collaborative  
investigation in Japanese art with the Getty Research Institute

4-3

OCLCへの論文情報の提供

Provision of art bibliography with OCLC

4 - 1

セインズベリー日本藝術研究所との  
「日本芸術研究の基盤形成事業」

Project “Shaping the Fundamentals of  
Research on Japanese Arts” with the  
Sainsbury Institute for the SISJAC



SAINSBURY INSTITUTE  
for the Study of Japanese Arts and Cultures  
セインズベリー日本藝術研究所

User  
日本芸術研究者 (F/J)



日本芸術文献DB  
(E)



日本芸術文献DB  
(J/E)

日本文化財  
文献DB (J)

日本美術文献目録

日本美術年鑑

DB作成協議  
講義・講演  
現地調査  
(人文学／理化学)  
(有形／無形)



東京文化財研究所

Independent Administrative Institution  
National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo



Library Collection

References on Cultural  
Properties

Information Search

Research Databases

## References on Cultural Properties

[HOME](#) > References on Cultural Properties[Basic Search](#) [Go to Advanced...](#)Keyword, Author, Title: 

## + Narrow by the following

- Articles from Tobunken publications / 東文研刊行物所載記事
- Articles from three performing arts publications / 芸能三雑誌所載記事
- Articles from *Bijutsu zenshū* (Complete Works of Art History) / 美術全集所載記事
- Articles in *Geppō* (Monthly Reports) / 月報所載記事
- Japanese Art Related Information outside of Japan (compiled by the Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures) / 海外関連情報 (英国セインズベリー日本藝術研究所採録)

## [ About the database ]

This open access database combines six of the following cultural studies related databases into one.

- SISJAC Database: Information collated by the Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures (approximate number of records: 1416) [information continuously being added]

This database includes Japanese art related publications. The database was created as part of the project 'Shaping the Fundamentals of Research on Japanese Art' which the Department of Art Research, Archives and Information Systems at the Institute has been conducting in collaboration with the Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures (SISJAC) in the UK since 2013. (The database lists publications, printed from January 2013 onwards.)

著者名	文献名	誌名	通号	巻号	発行年	分類	媒体	PDF/Webリンク	詳細
Ive Covaci	Enlivened images: Buddhist sculpture of the Kamakura period	Kamakura: Realism and Spirituality in the Sculpture of Japan	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Samuel C. Morse	A short history of the Kei school	Kamakura: Realism and Spirituality in the Sculpture of Japan	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Hank Glassman	Softening their light, mingling with the dust: Japanese gods in Buddhist art	Kamakura: Realism and Spirituality in the Sculpture of Japan	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Nedachi Kensuke	The transfer of divine power: replicas of miraculous Buddhist statues	Kamakura: Realism and Spirituality in the Sculpture of Japan	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Gregory Irvine	The Samurai	Japanese Art and Design	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Gregory Irvine	Religion and Ritual	Japanese Art and Design	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Rupert Faulkner	Tea Drinking	Japanese Art and Design	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Anna Jackson	Fashionable Living	Japanese Art and Design	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Gregory Irvine, Xiaoxin Li	Ukiyo-e and the Graphic Arts	Japanese Art and Design	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Anna Jackson	The Encounter with Europe 1543-1853	Japanese Art and Design	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		
Gregory Irvine	Imperial Japan: Meiji to Taisho	Japanese Art and Design	-	-	2016	SA	SISJAC 採録記事		

書名	編著者	出版者	刊行年月日	キーワード	分類	ブックID	詳細
Manus x Machina: Fashion in an Age of Technology	Andrew Bolton, Nicholas Alan Cope	Metropolitan Museum of Art; Yale University Press	20169999	-	SE	00712415	
Japanese Art and Design	Gregory Irvine (ed.)	V&A Publishing	20169999	-	SA	00693558	
Kamakura: Realism and Spirituality in the Sculpture of Japan	Ive Covaci (ed.)	Yale University Press	20169999	-	SE	00693546	
Mindful Design of Japan: 40 Modern Tea-Ceremony Rooms	Michael Freeman	8 Books	20159999	-	SM	00590322	
Hiroji Kubota Photographer	-	Aperture Foundation Inc	20159999	-	SE	00590133	
Seduction: Japan's Floating World: The John C. Weber Collection	Laura W Allen, Julia Meech, Eric C Rath, Melinda Takeuchi, Asian Art Museum of San Francisco	Asian Art Museum	20159999	-	SE	00589693	
Yuko Nasaka	Mizuho Kato, Ming Tiampo, Midori Yoshimoto, Axel Vervoordt Gallery (Antwerp)	Axel & May	20159999	-	SE	00589854	
Magnificent Obsessions: The Artist as Collector	Lincoln Dexter (ed.)	Barbican Art Gallery; Prestel	20159999	-	SE	00589851	



Library Collection

References on Cultural  
Properties

Information Search

Research Databases

## Art exhibitions and film festivals (held outside of Japan)

[HOME](#) > [Information Search](#) > Art exhibitions and film festivals (held outside of Japan)

Venue	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> OR	Partial matching ▼
Title of Exhibition	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> OR	Partial matching ▼
Year	<input type="text"/>	<input checked="" type="radio"/> AND <input type="radio"/> OR	Partial matching ▼

Search

Clear

## [About the database]

Information collated by the Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures (SISJAC) in the UK (approximate number of records: 960) [information continuously being added]

This database lists exhibitions and film festivals that have taken place outside of Japan from January 2013 onwards.

[Go to SISJAC website](#)

## [Tips on Searching]

- Please separate keywords by using space.
- Filters keywords by selecting either 'AND' or 'OR' conditions.
- Performs prefix search using the first letters of the keyword. (If prefix search is not selected, the results will be filtered by partial

展覧会名	会場名	開催年	開始日	終了日	巡回先	備考	キーワード	Keyword	Weblink
Transcending Forms: Japanese Bamboo Baskets	Morikami Museum and Japanese Gardens	2016	06.10	09.18	-	-	竹工藝	bamboo art	<a href="http://morikami.org/museum/upcoming-exhibitions/">http://morikami.org/museum/upcoming-exhibitions/</a>
Japan Modern: The Elise Wessels Collection	Rijksmuseum	2016	06.24	09.11	-	-	版画, エリーゼ・ウェッセル コレクション	hanga prints, Elise Wessels collection	<a href="https://www.rijksmuseum.nl/en/whats-on/exhibitions-expected/mo">https://www.rijksmuseum.nl/en/whats-on/exhibitions-expected/mo</a>
Graphics in Modern Japanese Prints	Tikotin Museum of Japanese Art	2016	02.06	05.29	-	-	矢柳剛	Yayanagi Gago	<a href="http://www.tmja.org.il/eng/Exhibitions/2703/Graphics_in_Modern_J">http://www.tmja.org.il/eng/Exhibitions/2703/Graphics_in_Modern_J</a>
Kazuo Katase: mimesis: u tsu su	White Rainbow, London	2016	02.05	03.24	-	-	Kazuo Katase	Kazuo Katase	<a href="http://white-rainbow.co.uk/exhibition/current/">http://white-rainbow.co.uk/exhibition/current/</a>
Kamakura: Realism and Spirituality in the Sculpture of Japan	Asia Society, New York	2016	02.09	05.08	-	-	鎌倉時代, 彫刻, 仏教美術, 神道美術, 仏像, 神像	Kamakura period, sculptures, Buddhist art, Shinto art	<a href="http://asiasociety.org/new-york/exhibitions/kamakura-realism-and-s">http://asiasociety.org/new-york/exhibitions/kamakura-realism-and-s</a>
Twisted Again: The New Kumihimo	Wedeman Gallery	2016	02.02	02.20	-	-	組紐, 小島弘子, 多田牧子	kumihimo, braids, Hiroko Ojima, Makiko Tada	<a href="http://wedemangallery.com/2016/01/03/twisted-again-the-new-kur">http://wedemangallery.com/2016/01/03/twisted-again-the-new-kur</a>
Shadows of the Floating Worlds: Paper Cuts by Hiromi Moneyhun	Morikami Museum and Japanese Gardens	2016	06.10	09.18	-	-	ヒロミ・ミズガイ・マネーハン	Hiromi Mizugai Moneyhun	<a href="http://morikami.org/museum/upcoming-exhibitions/">http://morikami.org/museum/upcoming-exhibitions/</a>
Monkeys and Mountains	Newark Museum	2016	03.09	02.27	-	-	浮世絵版画, 葛飾北斎, 歌川広重	ukiyo-e, woodblock prints, Katsushika Hokusai, Utagawa	<a href="http://www.newarkmuseum.org/monkeys-mountains">http://www.newarkmuseum.org/monkeys-mountains</a>
Glasgow Film Festival 2016	various venues in Glasgow	2016	02.17	02.28	-	-	園子温: ラブ&ピース, 細田守: パケモノの子, 黒沢清: 岸辺の旅	Sion Sono: Love and Peace, Mamoru Hosoda: Boy and the Beast, Kiyoshi Kurosawa: Journey to The Shore	<a href="http://visitgff.glasgowfilm.org/">http://visitgff.glasgowfilm.org/</a>
Antique Imari porcelain	hggrp gallery New York	2016	03.17	04.09	-	-	磁器, 伊万里	ceramics, Imari	<a href="http://hggrpgallery.com/newyork/date/2016/?lang=en">http://hggrpgallery.com/newyork/date/2016/?lang=en</a>
New City Art Fair: Tribeca, New York 2016	hggrp gallery New York	2016	03.03	03.06	-	-	石野郁和, 綿織圭吾, 清水はるみ, 寺山修司, 高橋大輔, スナーク, 関	Fumi Ishino, Keigo Nishikori, Harumi Shimizu, Shuji	<a href="http://newcityartfair.com/">http://newcityartfair.com/</a>

## 所蔵資料： Library Collection:

美術関係図書 Publications on art

伝統芸能図書

Publications on traditional performing arts

保存修復関係図書

Publications on conservation and restoration

売立目録 Auction catalogues

展覧会カタログ Exhibition catalogues

和雑誌 Periodicals in Japanese

写真原板 Photographic negatives and plates

美術家・美術関係者情報 Information on artists

画廊関係情報 Information on art galleries

## 情報： Information:

美術展覧会開催情報 Art exhibitons

美術展覧会・映画祭開催情報（日本国外）

Art exhibitions and film festivals

(held outside of Japan)

書籍情報（日本国外出版）

Publications on Japanese art

(published outside of Japan)

伝統楽器情報 Traditional Musical Instruments

## 文化財関係文献： References on Cultural Properties (Articles) :

美術関係文献 Art Related Articles

伝統芸能関係三雑誌所載文献 Performing arts Articles

月報（全集付録）所載文献 Articles on Geppō

美術全集所載文献 Articles on Bijutsu zenshū

セインズベリー日本藝術研究所採録記事情報

Articles published outside of Japan (compiled by SISJAC)

## 研究資料： Research Databases:

物故者記事 Obituaries

美術界年史（彙報） Art news articles

年紀資料集成 Collection of historical materials

黒田清輝日記 Diary of Kuroda Seiki

久野健寄贈資料 Kuno Takeshi donated materials

ガラス乾板データベース Photographic plates

新海竹太郎関連ガラス乾板 Photographic plates

associated with Shinkai Taketaro

尾高鮮之助調査撮影記録

Photographic survey records by Odaka Sennosuke

和田新調査撮影記録

Photographic survey records by Wada Shin I

『美術画報』所載図版 Illustrations of Bijutsu Gahō

黒田清輝作品集 Works by Kuroda Seiki



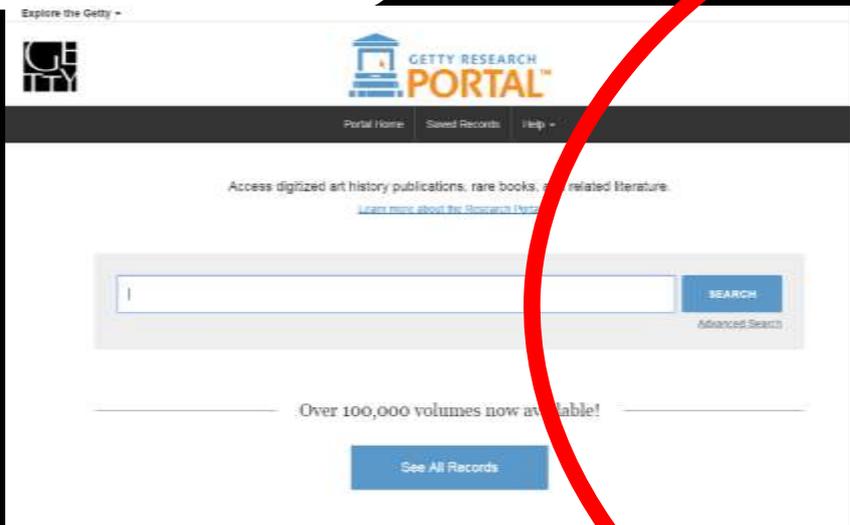
4 - 2

ゲッティ研究所と  
日本美術の共同研究推進に関する協定

Agreement Concerning promotion of the  
collaborative investigation in Japanese art  
with the GRI



The Getty Research Institute



User  
日本芸術研究者 (F/J)



User  
日本芸術研究者 (J/F)



国際標準化したメタデータ  
(研究成果報告書など書誌情報)

日本美術年鑑  
ほか  
各種研究成果

既存デジタルアーカイブ

- ・両機関の研究交流
- ・日本美術研究書の翻訳
- ・研究情報の国際標準化(東文研側)



東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo

4 - 3

OCLCへのデータ提供 (計画)

Provision of art bibliography with OCLC



おわりに  
Conclusion





石川 翁 (石川翁) 銅像 1910年



労働者 (労働者) 銅像 1910年



長崎 長崎 (長崎長崎) 銅像 1910年



労働 (労働) 銅像 1910年



読書 (読書) 油絵 1910年



竹 (竹) 墨画 1910年



風景 (風景) 墨画 1910年



石川 翁 (石川翁) 銅像 1910年



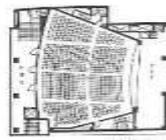
講義室 (講義室) 建築設計 1910年



講義室 (講義室) 建築設計 1910年



講義室 (講義室) 建築設計 1910年



講義室 (講義室) 建築設計 1910年



花瓶 (花瓶) 陶器 1910年



花瓶 (花瓶) 陶器 1910年



花瓶 (花瓶) 陶器 1910年



騎馬 (騎馬) 油絵 1910年

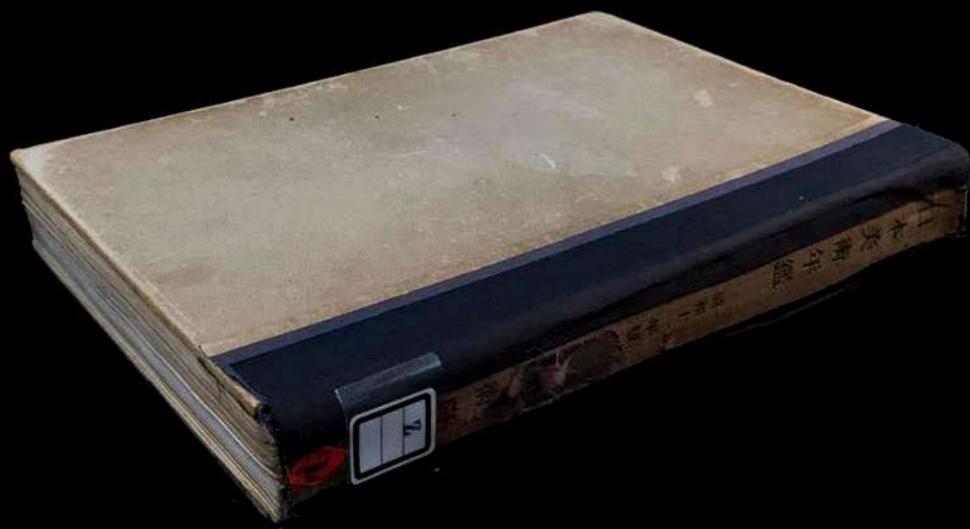


騎馬 (騎馬) 油絵 1910年



騎馬 (騎馬) 油絵 1910年





Thank you for your attention!